



白鳥 誠 市政レポート

Vol.67

発行：千葉市議会議員 白鳥誠事務所

〒266-0033 千葉市緑区おゆみ野南2-97-9 TEL.043-293-7130 FAX.043-307-4882

E-mail : info@m-shiratori.jp URL : www.m-shiratori.jp

市政レポート特別号

台風15号により被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

台風15号は、9月7日午前5時ころ、非常に強い勢力で千葉市付近に上陸しました。千葉市では、最大風速35.9m、最大瞬間風速57.5mを観測する等の暴風雨に見舞われ、関東地方に上陸したものとしては観測史上最強クラスの勢力により、倒木や長期にわたる停電等の大きな被害が発生しました。

令和元年第3回定例会(9月6日～10月4日)では、平成30年度決算審査、補正予算議案等各種議案審議が行われましたが、千葉市議会では、台風15号の被害発生後、議案質疑の取り止め、決算審査の日程短縮、一般質問時間の短縮等の対策をとり、市役所職員・各議員の災害対応への時間確保を図る措置をとりました。

今号では、台風15号の被災状況、台風防災対策の課題等について、報告いたします。次号では、H30年度決算、台風15号被害の復旧にかかる補正予算等について、報告します。

台風第15号の被災状況

千葉市災害対策本部発表

降雨状況(9月8日23:00～9日10:00)

113.0mm(累積雨量)
観測地点-緑区役所

最大瞬間風速

(9月9日4:28)57.5m
観測地点-千葉特別地域気象観測所(千葉市中央区)

避難勧告(土砂災害警戒情報が発表されたため)

9月9日(月) 6:40
＜対象地域＞
土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、急傾斜地崩壊危険箇所
＜対象世帯人数＞
市全体1,250世帯2,866人(うち緑区178世帯412人)

職員配備

9月8日(日) 16:30
注意配備体制328人(うち消防局228人)
9月9日(月) 5:37
第1配備体制約1300人(うち消防局447人)

市の主な対応

- ・避難所における飲料水や食料の提供
- ・大型バスを配備し停電地域の市民に開放
- ・市施設のお風呂や銭湯の無料開放
- ・一時的な避難場所として無料で利用できる宿泊施設の用意
- ・学校施設を活用した支援施設の設置
- ・福祉施設等への電気自動車による給電
- ・移動販売車による食料・日用品等の販売

避難者受入数

9月10日 市内全体 612人(うち緑区 206人)
9月23日 市内全体 6人(うち緑区 6人)

被害状況(10月9日17時00分現在)

		緑区	市全体
人的被害	死者	0	0
	行方不明者	0	0
負傷者	重傷	0	1
	軽傷	0	12
停電に伴う被害 (熱中症等)	重傷	0	4
	軽傷	14	49
住家被害	全壊	4	7
	半壊	7	51
	一部破損	563	2187
	床上浸水	1	3
	床下浸水	1	4
その他	文教施設	10	50
	がけ崩れ	0	3
	道路冠水	15	38
	車両被害	8	53
	倒木	424	1302
	上記以外	178	763

(裏面に続く)

市政報告のお知らせ

11/16 (土)

11:00～12:00 (鎌取コミュニティセンター・集会室)
13:30～14:30 (菅田公民館・和室)
15:30～16:30 (あすみが丘プラザ・会議室2)

停電軒数

<9月9日11:00現在>

市内全体 約94,200軒(うち緑区 約17,700軒)

<9月16日17:00現在>

市内全体 約4,400軒(うち緑区 約2,900軒)

<9月30日>

全面復旧

農業被害(市全体)

<10月10日9時00分現在>

被害額8億4,850万円

【内 訳】

1.農産物被害 被害金額:約4億3,520万円

<作物>米、ソバ<野菜>ニンジン、キャベツ、サラダナ、ダイコン、イチゴ、ワケネギ、ネギ、コマツナ等<花き>花壇苗、シクラメン、キク<果樹>ナシ、クリ、ブドウ<畜産>生乳(廃棄)、家畜死亡

2.農業施設被害

被害金額:約4億1,330万円

<主な施設>

ビニールハウス、
パイプハウス、
畜産施設



ビニールハウス被害



電線・道路に両側から覆いかぶさる倒木



鎌取駅前



自衛隊による倒木撤去作業

台風15号の教訓 —防災・減災のための今後の課題

長引く停電への対応

各種施設(医療・高齢者・障がい者・畜産施設等)への電源対策(非常用電源設備の整備支援、災害時の電源車派遣等)、生活必需物資の供給、井戸水・マンション等のポンプ非常用電源の確保および整備支援等

倒木の処理

停電および道路復旧作業迅速化のための千葉市と東電との協定による倒木処理対応等、長期的課題として無電柱化等

街路樹、民地の樹木の管理

電線・人・建物等への被害軽減、道路遮断未然防止のための伐採・植え替え等の対策

地域住民への情報提供

安全安心メール、行政防災無線、広報車等の情報提供ツール及びその使い方・情報内容の見直し、地域住民同士の情報伝達の仕組みづくり等

避難所運営

台風災害への対応の確認、地域・施設管理者・行政の3者による役割責任分担の明確化、物資・情報提供拠点の住民への周知徹底等

ボランティア派遣

市外、県外からのボランティア・NPO等の支援団等への要請・受入れ体制の構築、被災者ニーズ把握、ブルーシート張り等の被害応急措置対策

要援護者支援

高齢者・障がい者・乳幼児等の避難支援、避難所・医療施設等との連携等

災害時の医療、介護

施設支援とともに訪問看護・介護への支援体制強化

地域での支えあい、協力体制の構築

自治会・自主防災組織・避難所運営委員会等地域団体の平常時の備え・災害時の役割確認、協力体制の確立、ご近所での助け合い等

各家庭で台風災害への備え

住居等への強風被害軽減対策、備蓄品(3日~1週間分)準備、ハザードマップでの危険個所の確認等

通信手段の確保

停電時にも使える公衆電話の増設等

その他

ドローンの新たな活用方法の検討等—被害状況把握、ブルーシート張りへの活用等

過去に経験のない自然災害への対応を!

これまで、災害への備えは地震対策を中心に考えてきましたが、今後は暴風雨対策も併せて進めることが必要です。今後、大型化・激化する台風への備えをしっかりと行い、市・地域の防災・減災力を高めていかなければなりません。そのための課題は、上記を含め様々にあります。また、今回の停電を経験し、あらためて情報通信・水道・医療などあらゆるものが電気に依存している、デジタル化が進めば電気への依存はさらに強まること、を痛感しました。私は、今回の大きな台風被害の教訓をもとに、地域防災力を高めるために力を尽くしてまいります。

白鳥誠プロフィール



1958年 (昭和33年1月30日生まれ)
1976年 千葉県立木更津高校卒業
1981年 立教大学を経て、そごう百貨店入社(1999年まで18年間、有楽町そごう勤務)
2003年 衆議院議員公設秘書
2007年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。初当選
2011年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。2期目当選
2015年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。3期目当選
2019年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。4期目当選

今回取り上げた問題等、市政に関わること何でも結構です。みなさんのご意見をお聞かせください。どうぞよろしくお願いいたします。

E-mail: info@m-shiratori.jp FAX: 043-307-4882